25　次の詩を読んで、後の問に答えよ。──返り点と送り仮名を一部省略してある。── 〈熊本大〉　二〇一四年度出題

海　　　天　［　Ａ　　　　　　　　茫

山　　　勢　　　川　　　形　　　　［　Ｂ　］

灯　　　火　　　万　　　家　　　　　　四　　　畔

星　　　河　［　Ｃ　］　道　　　　　　中　　　央

①　　　㆓　　古　　　㆒　　晴　　　　　　雨

　　　㆓　　平　　　㆒　　夏　　　　［　Ｄ　］

②能　　　就㆓　　江　　　楼㆒　　銷㆑　　暑　　　否

㆓　　　　　茅　　　㆒　　　　清　　　涼

（『白居易集』による）

（注）海天……海の水平線のかなた。　茫茫……広々として果てしないさま。

　　　四畔……四辺。　江楼……水辺のたかどの。

　　　銷……消える、消す。　茅舎……茅葺きの家、粗末な家。

問１　空欄ＡからＤまでには次のア～ケのいずれかの文字が入る。適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア　星　　イ　光　　ウ　一　　エ　霜　　オ　両

カ　西　　キ　花　　ク　復　　ケ　東

◎問２　傍線部①を現代語に訳せ。

問３　傍線部②をすべて平仮名の書き下し文に直せ。

◎問４　この詩の作者は「君」に何を勧めようとしているのか、本文に即して簡潔に説明せよ。

【解答と採点基準】

問１　Ａ＝ケ　　Ｂ＝ク　　Ｃ＝ウ　　Ｄ＝エ

問２　Ａ風は古びた木々を吹いて、Ｂ晴天なのに雨が降ってきたようにザァーと音を立て

Ａ＝３〔「樹齢を重ねた木々」「古い大木」なども可。〕

Ｂ＝７〔擬声語は「さやさや」なども可。またなくても可。「葉音

は雨音のように響く」という内容が書かれていなければ０。〕

問３　よくうろうにつきてしをせんやいなや

「あつさをけすやいなや」も可。

問４　Ａ暑い夏の夕方に、Ｂ作者がいる水辺のたかどのに来て、Ｃ月下に広がる素晴らしい風景を見ながら一緒に夕涼みをすること。

Ａ＝２

Ｂ＝３〔「たかどの」は「高い建物」「楼閣」も可。〕

Ｃ＝５〔「壮大な風景」「絶景」なども可。〕

【書き下し文】

問１Ａにめばべたり

く　問１Ｂたし

の

問１Ｃの

はをくの

はをらすの問１Ｄ

問３くにきてをせんやや

がにすればだ

【現代語訳】

水辺のたかどのの上から東方を眺めると海の水平線のかなたは暮色につつまれ広々として果てしない。山の姿も川の流れも広くまた長くどこまでも続く。数知れぬ家の灯火はあかあかと町の四辺までも広がり、一すじの天の川がこの銭塘江の真ん中に懸かっている。問２風は古びた木々を吹いて、晴天なのに雨が降ってきたようにザァーと音を立て、月は果てしなく広がっている砂原を照らし、一面の川砂は夏の夜の霜のように白く光っている。ところで君よ、なんとかこの（素晴らしい景色の）水辺のたかどのに来て夕涼みができないか。君の暑苦しい茅葺きの家に比べたら、こちらの方がずっと涼しいだろうから。